

表する予定であることもあわせて報告されました。

最後に、県教委の青木さんより、「かすたねっと」(外国につながるのある児童・生徒の学習を支援する情報検索サイト <http://www.casta-net.jp/>)と『外国人児童生徒の受け入れの手引き』(文部科学省初等中等教育局国際教育課)のご案内がありました。

二日続きの進学ガイダンスと協議会が無事に終

了し、正直ホッとしたというのが実感でした。以前にも書きましたが、進路調査に関して話し合った頃から、協議会が率直な意見を言い合う場としてホントに大事な役割を果たしているとの思いを強くしました。今回も貴重なご意見を伺えて有意義な会議となりました。関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

多様化する外国につながる子どもへの 効果的な支援について考える ～ 第2回「外国人児童生徒支援会議」報告 ～

国際学部特任准教授 若林 秀樹

11月10日に開催された、本年度第2回目の「外国人児童生徒支援会議」について報告します。今回は、年度末に刊行予定の『教員必携 外国につながる子どもの教育』続編の制作につながる具体的な協議が進められました。

協議に入る前に、二つの報告事項をおこない

ました。ひとつは「ペルーに帰国した子どもの教育事情」についての報告です。日本からペルーに帰国した子どもたちがどのような教育環境に置かれているか、9月にリマ市の日系人学校を視察した時の様子や、日秘文化協会での教育に関するシンポジウムでの発表について報告しました。もうひとつは10

月23日に宇都宮大学で開催された「多言語による進学ガイダンス」についてです。これは別項に詳しい報告がありますのでご覧下さい。

これから制作される『教員必携 外国につながる子どもの教育』（続編）について、大まかな内容は次のように計画しています。第1部は、多様化する外国につながる子どもに対応するための支援例の提供です。支援対象の子どもについては「日本で生まれた子ども」「小学低学年で編入した子ども」「中学で編入した子ども」などいくつかのモデルを設定し、どのような場面でどのような支援が効果的かという視点での実践例を提案します。第2部は、HANDSプロジェクト事業の「多言語による進学ガイダンス」や「外国につながる子どもの進路調査」などの成果を活用し、学級担任段階で実施可能な進路指導についての具体的な提案や保護者に提供できる翻訳資料の提供、外国につながる子どもの教育や進路に関する有効なデータの紹介を予定しています。第3部では、実際の支援例を体験談という形で紹介します。成功例だけでなく失敗談も含め、幅広い立場の支援者にとって参考となる情報を提供したいと考えています。

今回の会議に先立ち、参加者に対して事前に課題をお送りしました。前述の第1部の概要を紹介した上で、効果的な実践例を持ち寄るという課題でした。校務多忙の中、多くの出席者から回答の提

出が得られました。提出された実践例は初期指導的な内容に加えて、学習指導の方法に関する内容が大変目立ちました。外国につながる子どもの多様化や定住化に伴って、支援の現場は学習支援が中心になりつつあることを表しているようです。

協議はグループ形式で進められました。課題に対する全回答をコピーして参考資料として配布し、第1部の構成を見据えた、子どものモデルケースや場面別の効果的な支援について具体例を作成するという内容でした。設定を絞り込んでの提案は多少の困難を伴いましたが、多くの素晴らしい提案が出されました。外国人児童生徒支援会議にとって『教員必携～』の刊行はあくまで副産物であり、本来の目的はここに集った拠点校教員の皆さんが多くの情報を見聞き、より良き支援について共に考え、新しいヒントを持ち帰ることにあります。その点からも意義のある協議だったと感じています。

今年度の外国人児童生徒支援会議は2月に実施される第3回を残すのみとなりました。11月中に組織される作成委員会を中心とした作業を経て『教員必携 外国につながる子どもの教育 実践例・進路』（仮題）として具体的な内容が提示される予定です。昨年度の支援会議を経て完成した『教員必携 外国につながる子どもの教育 Q&A・翻訳資料』に続く、有効な教員用手引き書を完成させたいと思います。

「多言語による高校進学ガイダンス」 開催報告



宇都宮大学国際学部 教授
HANDS プロジェクト 研究代表

田巻 松雄

10月23日（日）に「多言語による高校進学ガイダンス」を開催しました。昨年に引き続き2度目の開催です。このガイダンスは、日本語を母語としない子どもたちと保護者を対象にして、日本の教育制度や高校受験に関する情報を正確に提供することを目的にするものです。中学生と保護者を含む当日の

参加者については、5ページをご覧ください。昨年より参加者は減っていますが、11月13日に真岡市で同様のガイダンス（HANDSプロジェクトと真岡市教育委員会共催）が開催されることが影響していると思われます。また、今回は鹿沼東高校の国際理解部のフレッシュな面々が参加してくれました。